



山田 裕一教授

戦争と医学・医療の関わり

医師免許を持つた人なら誰でもが知っているウェーリアム・オスラーという人を紹介します。彼はカナダに生まれ、最後にはアメリカ医学教育の発展に尽くした人です。オスラーは看護学校の卒業式で「看護（医療）の原点は、熱を出した子供の頭を小川の水で冷やす、傷ついた兵士に一握りの食べ物を与える、原点はそこにあります」と言っています。

密接に関係を持つてきました。つまり医学・医療といふのは、ことの始まりから実は戦争と密接に関係を持っています。20世紀の戦争前までは、医学・医療は傷ついた人たちの側から戦争に関わってきましたが、20世紀の戦争では国家総動員体制の中に組み込まれ、大量殺戮による兵器の開発や非人道的行為にまで医者や科学者が加担することになりました。

衛生学と戦争、平和

金沢医科大学衛生学教授
山田 裕一

ました。日本の15年戦争では、傷ついた人の側だけに立つことを許さず、「防疫・給水」という「衛生学」を思わせる呼称の下で細菌兵器の開発や人体実験などに関わるという戦争犯罪を犯したこと忘れではありません。

医学の歴史と衛生学
衛生学とはどんな領域でしょ

衛生学は環境の問題を重視

中世に入るとキリスト教が力を占め、「僧院の医学」と

原則、第2原則となっています。また、ヒポクラテスは自然治癒力を重視し、良い空気・良い水・良い場所（乾いた場所）が健康にとって大事と説き、環境医学の原点を示したとも言われています。



題字は 杉山 栄太郎

発行所
世界連邦石川編集室
金沢市疋田町八302
千坂保育園
石川県連合会事務局内
☎076-258-1321

発行人
平口哲夫

うか。西洋医学では、古代ギリシアに医神アスクレピオスがいます。アポロン、即ち神様の子供といわれ、その娘ヒギエイア（健康の女神）の名を由来として日本では明治期に「衛生」という言葉が生まれました。紀元前500年頃の古代ギリシアには医聖ヒポクラテスが現れ、「患者には良いことをしなさい、悪いことはしてはいけません」という、いわゆる「ヒポクラテスの誓い」を広められました。以来2500年間それが変わらず現代でも医療倫理の第1

力で、その上で、その一方で、そうでなかつた医者や研究者たちもいました。衛生学者である私は、弱い者の立場に立つ医療者として、また真実を明らかにすること、を使命とする研究者として、事実を真っ直ぐ見つめ、信念と勇気を持って意見を発表していく必要があります。私は同時に教育者でもあります。

（講演要旨）文責在記者、写真は講演会場

暑中お見舞い申し上げます
会長 杉山栄太郎
金沢都市開発株式会社
〒920-0961
金沢市香林坊一丁目一
TEL 076-258-1321
FAX 076-258-1321
E-mail: sugiyama@atrococ.jp

医者は20世紀以降、非人道的な行為にも手を貸していました。しかし、誰よりも高く戦争反対の声を上げなければならぬ職種です。



暑中お見舞い申し上げます

石浦 神社

宮司 長谷勝俊

〒920-0964
金沢市本多町三十一
TEL 076-233-1884
FAX 076-233-1352